

あかん遊久の里 鶴雅



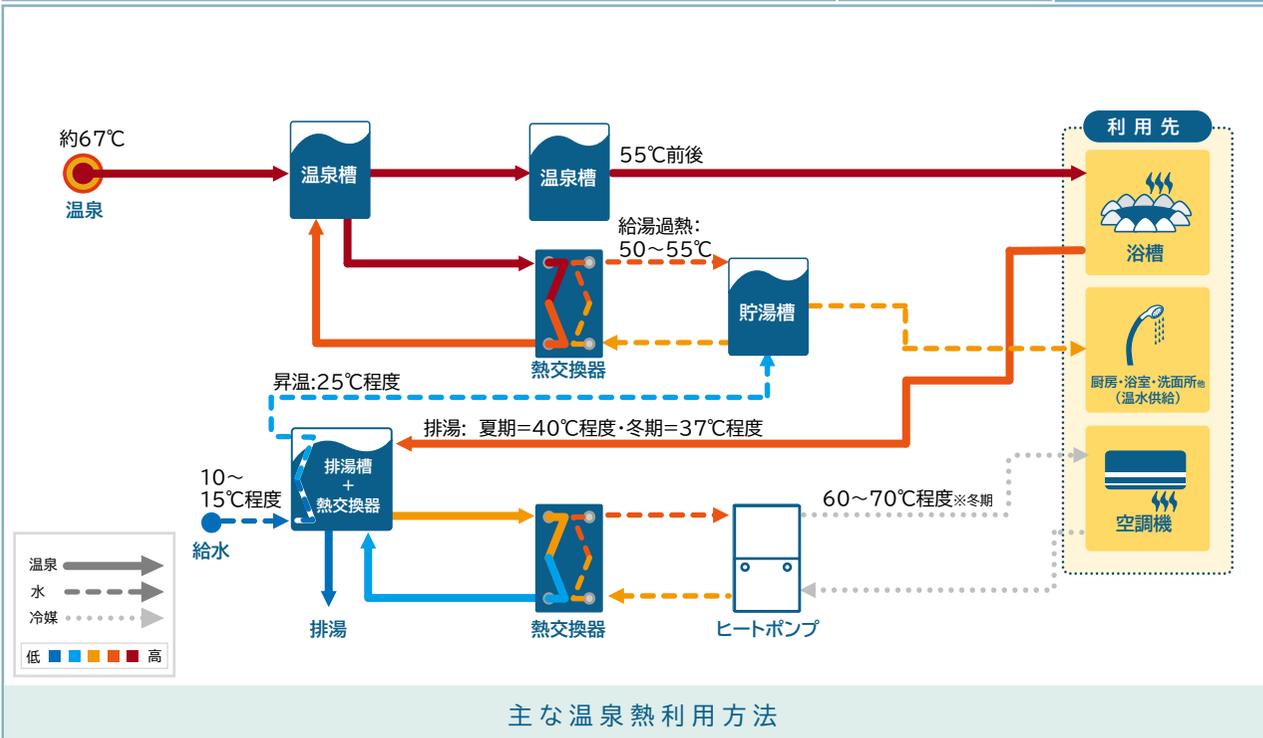
概要

高温の温泉熱を「温水供給」「給気加温」「浴槽の保温」として段階的に熱交換を行い、さらに排湯熱を回収するヒートポンプシステムにより暖房を行う。

夏季はヒートポンプの冷房排熱を給湯予熱に利用することにより、エネルギー使用量に加え温泉使用量を削減することが可能である。



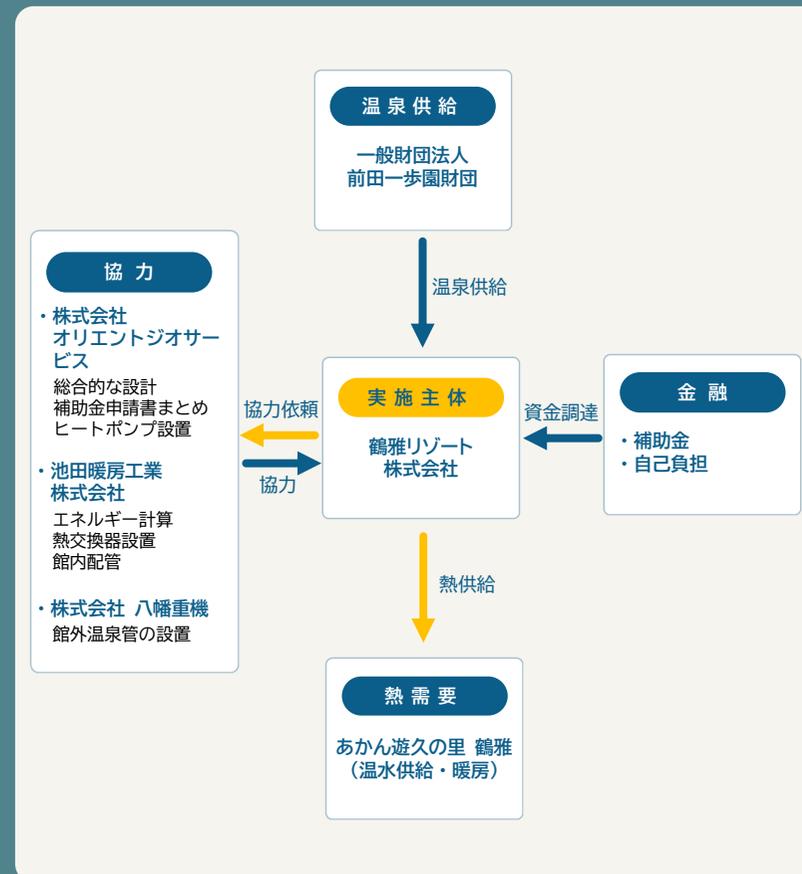
泉質	単純温泉	CO ₂ 排出量削減効果	エネルギーコスト削減効果
熱利用温度	67℃	32%削減※1	79%削減※1
利用温泉	新規温泉		
総事業費	1億8,800万円（一部補助金あり）		



※本事例は「平成29年度・30年度温泉熱等の有効活用等普及促進調査等委託業務」にて調査・整理した事例であり、掲載情報は調査当時のものであることから、詳細な状況は変更されている可能性があります。

※1: CO₂排出量削減効果、エネルギーコスト削減効果は、ヒアリング結果を基に算出した推定値(重油使用量削減による効果)です。

実施体制



事業検討の流れ

